

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011 年度 JASSO 派遣報告書

報告者氏名 竹原かろな

2011 年度 (入学・編入)

1. 研究課題：

タイにおける民主主義：非政府組織はなぜ選挙民主主義に背を向けるのか

2. 派遣期間：

平成 24 年 3 月 3 日 ～ 23 年 3 月 16 日 (13 日間)

3. 今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください

目的：予備論文で扱う NGO 研究の情報収集。

①予備論文で扱う特定の NGO 団体に関する資料の入手。

今回の調査では、タイを代表する大規模な NGO 団体である Folk Doctor Foundation, Thai Health Promotion Foundation, Local Develop Institute の 3 団体を訪問した。各団体では主に以下の内容に関する資料収集を行った。

・概要、歴史。・予算の出所、使い方等に関する資料。・組織のネットワークに関する資料。

成果：団体によって資料の保存形態が異なっていたために、全ての団体で十分な資料を入手出来たわけではなかった。しかし、今回の渡航で得た資料を比較検討した結果、予備論文で集中的に扱えそうな団体が特定された(Thai Health Promotion Foundation)。

②NGO を統括する NGO 指導者達の政治思想の理解。

今回は、政治紛争において重要な役割を担っていた黄服 NGO を統括していた NGO 指導者と、赤服の NGO 指導者に直接インタビューを行った。NGO は市民社会を掲げて、国民の意思を反映していると考えられており、大衆の動員力から非常に注目されている政治勢力である。

成果：直接政治紛争に関与していた、全くことなる立場の当事者達から、彼らの理想や政治情勢に関する生の声を聞くことが出来た。それぞれに理想を掲げて、その理想のためのロジックを持っているが、NGO 指導者達が日頃意識している住民の階級によって政治的目標が異なってくるのがわかった。

4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や展望について

【課題】

タイ語能力のより一層の強化。タイ政治および政治学に関する一般的な知識の増量。

【展望】

修士 2 年のうちに日本で文献等からの基礎知識の土台を作り、博士課程の早い段階で調査のために渡航し、資料収集を行う (1~2 年を予定)。渡航後、得られたデータや知識を元に博士論文を執筆開始。

5. 本プログラムに関して意見をお聞かせください。また、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいですか？

滞在期間から滞在目的まで自由に予定を組み立てられるのがとても良かった。

資料収集のためにタイ近隣諸国への渡航も希望しているので、日本に帰国しなくても国を跨いで調査が出来るようなプログラムがあればいいと思った。月 8 万だと、航空券と保険で使い果たしてしまうので、もう少し予算を増額して頂けると、資料の収集等がより円滑に行えると思った。

例えばタイをフィールドとしていても、英語の必要性を感じるので、アウトプットのプログラムにもぜひ参加したい。